



13



14



15



16



17



18

- 13 杉本健吉『千本松原屏風』
1992年 174.0×225.0cm
- 14 杉本健吉『三国山 青衣乃神人』
1989年 本紙29.0×46.8cm
- 15 杉本健吉『三国山 よいやよいや』
1989年 本紙28.0×53.7cm
- 16 杉本健吉『玄の壺』
1969年 本紙23.0×32.5cm
- 17 杉本健吉『鏡板 老松』
1977年 211.0×528.0cm
※5月23日[土] 本多記念民芸の森にて展示予定
- 18 杉本健吉『轡 陶桜会』
1999年 118.5×45.0cm

関連企画
記念講演会
「杉本健吉と本多静雄の交流」
日時:2月22日[日] 午後2時-3時30分
講師:木本文平[碧南市藤井達吉現代
美術館館長]
会場:第3民芸館
お話し&ワークショップ
日時:4月19日[日] 午後1時-4時
講師:山内武志[アトリエぬいや]
会場:第3民芸館ほか
①お話し
「染色家山内武志が語る芹沢銈介」
②合羽摺りワークショップ
ギャラリートーク
[学芸員による展示解説]
日時:2月28日[土]、3月21日[土] 午後2時-
※関連企画詳細は当館ウェブサイトをご確認下さい。

同時期開催の展覧会
豊田市博物館
「伊能忠敬
—新しい地図の世界へ—」
2026年1月31日[土]-3月29日[日]
豊田市美術館
「没後50年 高島野十郎展」
2026年1月6日[火]-3月15日[日]
豊田市本多記念民芸の森
森のアート展 vol.24
「喉元を過ぎれば」
2026年1月10日[土]-3月15日[日]

問合せ先
豊田市民芸館
〒470-0331
愛知県豊田市平戸橋町波岩86-100
Tel.0565-45-4039
Fax.0565-46-2588
Email:
mingeikan@city.toyota.aichi.jp
URL: <https://www.mingeikan.toyota.aichi.jp/>



2026年2月7日[土]-5月24日[日]

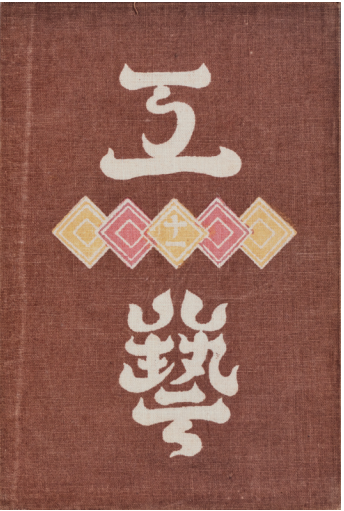
ふたつのコレクション展	芹沢銈介の仕事 筆と言葉 杉本健吉と本多静雄の交流
Two Collection Exhibitions	Serizawa Keisuke's Work Brush and Words: The Friendship of Sugimoto and Honda

豊田市民芸館



開館時間:午前9時30分-午後5時/休館日:月曜日[2月23日、5月4日は開館]/主催:豊田市民芸館/共催:中日新聞社/出品協力:公益財団法人 杉本美術館
観覧料:一般600円/高校・大学生400円/中学生以下無料 ※観覧料の減免、割引等については当館ウェブサイトをご確認ください。

芹沢銈介〔1895-1984〕は、日本を代表する染色家であり、民藝運動の中心的な作家のひとりです。柳宗悦の論文「工藝の道」に感銘を受け民藝運動に参加し、柳の著作の装幀を数多く手がけました。芹沢は「下絵」・「型彫り」・「染め」の工程をすべて一人で行う「型絵染」を確立し、その功績により人間国宝に認定されています。本展では、2025年に生誕130年を迎えた芹沢銈介の作品を、館蔵品の中から厳選して紹介します。88歳でこの世を去るまで、制作を続けた芹沢の作品は、今も多くの人に愛されています。本展では、代名詞である染色作品に加え、ガラス絵、絵本、装幀など幅広い作品を通して、芹沢の生き方そのものと言える仕事への姿勢を感じてください。



1



2



3



4



5



6



7



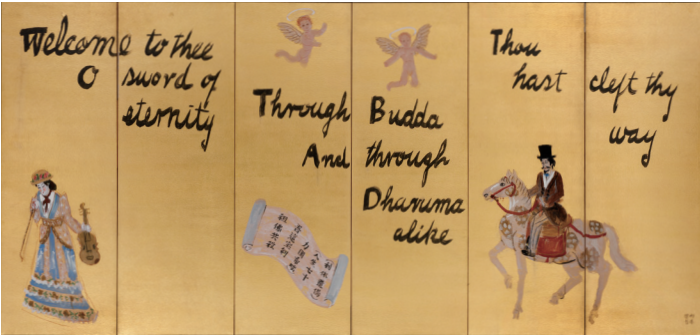
8



9

豊田市名誉市民であり、実業家として活躍する一方、日本有数の古陶磁研究家としても知られる本多静雄〔1898-1999〕と、名古屋市出身の画家・杉本健吉〔1905-2004〕。本展では、杉本の絵画作品をはじめ、本多が主催した茶会や創作狂言に関連する作品など、二人の深い交流と文化活動に焦点をあてて紹介します。「生きることは描くこと」と語った杉本健吉。ふたりは愛知県立工業学校〔現・県立愛知総合工科高校〕の同窓であり、8歳年下の杉本は、

本多との交流を通じて多くの作品を生み出しました。一方、本多は杉本美術館〔2021年閉館〕の開館に際し、初代館長を務めるなど、生涯にわたり杉本との親交を深めました。本多は101歳、杉本は99歳でこの世を去りましたが、晩年ふたりは関心や好奇心の赴くままに、互いの創作意欲を刺激し合う特別な関係にありました。本展では、杉本健吉の代表作となる「新平家物語」や「聖徳太子絵伝」をはじめ、ふたりの人生が交差することで育まれてきた作品の数々を紹介します。



10



11



12

1 芹沢銈介 雑誌『工藝』11号
1931年 22.0×15.0cm
2 芹沢銈介 雑誌『工藝』65号
1936年 22.0×15.0cm
3、表紙〔上/部分〕
芹沢銈介『はんどり図四曲屏風』
1957年 166.4×243.4cm

4 芹沢銈介『ねじり文暖簾』
1971年 121.0×84.5cm
5 芹沢銈介『型染笹文帯地』
1970年頃 34.5×477.0cm

6 芹沢銈介『窯出し文暖簾』
1949年 115.7×110.5cm

7 芹沢銈介『いろは文字絵六曲屏風』
1958年 本紙139.7×30.2cm

8 芹沢銈介『中国玩具』
1970年 25.0×20.0cm

9 芹沢銈介『みちのくだてげら』
1975年頃 17.3×12.5cm

10、表紙〔下/部分〕
杉本健吉・画 本多静雄・書『明治開化屏風』
1987年 178.0×366.6cm

11 杉本健吉『桂林宝塔山』
1983年 本紙56.3×39.7cm

12 杉本健吉『狍犬 素玄会』
1972年 39.4×30.5cm